



…『キラキラ』の由来…
NPO・ボランティアなどの活動が活発になり、多くの市民の顔がキラキラ輝くようにという願いを込めました。

…つばやきサロン…

敬愛なる松下竜一さん

わたしが初めてあなたを知ったのは中学生の時、図書館で借りた本でした。その後、市民活動、住民活動という言葉や環境権という言葉を知ったのもたぶん、新聞に掲載されたあなたの活動からだと思います。

本は不器用な青年が必死に生きる物語。
絵に描いたような貧乏生活と自分の体の病弱さ、出来の悪い兄弟を呪い、進学をあきらめ、継いだ家業は思うように行かず、自分をも恨む、挫折の毎日。でも、あなたの文章には悲惨さはなく、むしろ、こみ上げてくる可笑しさ。私はすっかり、あなたのファンになりました。

家業の豆腐屋をしながら、自費出版された手作りの短歌集に注文が殺到し、私の読んだ“豆腐屋の四季”で作家デビューを果たしました。その後、家業を廃業し、作家に専念し、数々の賞も手にしましたね。

一方で地域の社会問題にも積極的にかかわり、「環境権」を掲げて市民らと計7人で提訴。代理人なしの本人訴訟としても注目され、85年には最高裁で敗訴が確定しましたが、運動の機関誌「草の根通信」は発行し続け、市民団体の交流の場となりました。そのつながりで人権問題にも取り組まれました。

作家になってもあいかわらず、お金儲けには疎く、貧乏生活を続けていたようですね。たまたま、私の母が入院していた同じ病棟で病と闘われていた松下さん。少し開いた病室のドアから横顔だけ、何度か拝見させていただきました。亡くなったと聞き、私は思わず、心でこうつぶやきました
「お疲れ様です。先生、もうお金のこと気にしなくていいですね。」

優しく、強く、そしてユーモアに満ちた松下さんのような人に、また出会いたいです。



サポートセンター職員 坪根 真澄

第16回・サポートセンターの日/2008・2・25

関わっているボランティア活動についてお話をいただきました。



北九州託児ボランティア「わらんべの会」 会長 松下 一美さん

北九州託児ボランティア「わらんべの会」は、日本で初めて設立された託児ボランティアの会です。昭和52年に「婦人のための託児ボランティア養成講座」があり、講座終了生が同じ年の10月に自主的に発会したものです。

託児ボランティアに参加する人達は、子どもが好きという人が多いのですが、必ず幼稚園での実習を終えてから参加していただいています。

託児で大切なことは「子どもの目線」です。子どもが親と離れる時、泣く子どももいます。泣きながらもその子の目線がどこに行っているのかに気づき、おもちゃや本であれば、興味を持ち、一緒に遊びます。すると泣いていた子どもも自然と遊べるようになります。子どもの気持ちを思い、感じ取ることが大切だと考えています。

子どもと接することに先輩後輩のような上下の関係はありません。ボランティア同士では「こんな時はどうしたらいい？」と気軽に聞ける関係を築いています。

託児ボランティアをする上で大切な三つのポイントは①にこやかな笑顔②優しい言葉③優しいまなざしです。

親御さんが迎えに来て「帰るのは嫌だ！」と言う子がいたり、「楽しかった」と笑顔で言ってくれたりします。そんな時は「きつかったけれど頑張ってた良かった。無事、事故もなく本当に良かった」と大きな喜びに変わります。

「わらんべの会」では託児ボランティアの他に、高齢者とのふれあいや、障害児童及び保護者会への協力も行っています。



わらんべの会 30周年記念誌より

「0歳から100歳までの人にボランティアを」を目標に、現在でも月1回の勉強会を開き、日々成長していく精神を忘れないように活動しています。



ボランティアグループ「渚」 サポートコーディネーター 室山 隆行さん

「渚」は発達障害児（自閉症など）の余暇活動などを行っているボランティアグループです。

大学生の時、発達障害児の親御さんと知り合い、支援の必要性を感じて、ボランティアを始めたいと思いました。しかし、何をしていたら分からず、毎週一人でデイサービスのボランティアに参加していました。専門知識も必要と思い、ホームヘルパー2級の講座も受講しました。

ボランティアを継続するためには、グループが必要だと思い、他の団体のボランティアにも参加している方々に声を掛けることを始めました。ガイドヘルパーの受講生に声掛けなど一人ずつ仲間を増やして、ボランティアグループ「渚」を04年に立ち上げました。

初めは実績も無いので、周りにはなかなか受け入れてもらえませんでした。05年10月から、小池養護学校（現小池特別支援学校）の体育館を借りてフリースペースとし、2～3ヶ月が過ぎて慣れてきた頃から、プログラムを作り始めました。その後、活動スペースを多目的室に移し、絵本の読み聞かせやリズム体操、公園などに出かける野外活動も行うようになりました。

その他、子育てに関わる多くの人たちのネットワークづくりを進めるために開かれた「子育てネットワークinふくおか」に06年から「障がいを持った子どもたちのサポートコーディネーター」として関わり、現在も配慮の必要な子どものサポートコーディネーターとして参加しています。

渚で活動している主なメンバーは7名ですが、その他にもたくさんのボランティアが関わっています。

これからも発達障害への啓発と余暇活動を継続し、心のバリアフリーを目指して活動していきたいと思えます。



ボランティアグループ渚のマーク

平成20年度JICA「青年海外協力隊」春募集

技術や経験を活かして開発途上国の人々と共に生活し、相互理解を図りながら、彼らの自助努力を促進させる形で協力活動を展開していく海外でのボランティアです。

- 募集人数：1,400名
- 募集分野：農林水産、土木建築、保健衛生、教育文化等 8部門 約120職種
- 募集期間：4月8日(火)～5月23日(金)
- 派遣国：アジア、アフリカ、中南米、大洋州、中近東 約80ヶ国
- 応募資格：満20歳から満39歳までの日本国籍を持つ方
- 派遣期間：1年間または2年間
- 待遇等：JICAの規程に基づき、往復旅費、現地生活費等支給
- 体験談&説明会日程
 - 4月19日(土) 14:00～
 - 4月22日(火) 18:30～
 - 北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”
 - 5月10日(土) 14:00～
 - JICA九州
- 問合せ先
 - JICA九州(北九州市八幡東区)
 - TEL:093-671-8349
 - <http://www.jica.go.jp>



助成金

★2008年度みなとや海辺の活動支援

北九州市内のみなとや海辺および、その周辺で行う活動に対し、その活動費の一部を助成するものです。

☆助成対象団体

- (1) 市民ボランティア団体
- (2) 学校・教育関係機関
- (3) 特定非営利活動法人(NPO法人)

☆助成対象活動

- (1) 自然環境保全活動
- (2) 環境美化活動
- (3) 体験型環境学習活動
- (4) 地域づくり・まちづくり活動
- (5) 歴史・文化・魅力等発見・発信活動
- (6) 環境に関する普及啓発・広報活動
- (7) 環境に関する活動で、特に認められるもの

☆募集期間：4月7日(月)～4月30日(水)

☆みなとや海辺の活動支援 選考会事務局

〒801-8555
北九州市門司区西海岸1丁目2番7号
北九州市港湾空港局総務港営部総務経営課
TEL 093(321)5939
FAX 093(321)5933

<http://www.kitaqport.or.jp/jap/topics/umibesie n.html>

**平成20年度パソコン講座受講生募集
—NPO法人スキルアップサービス—**

パソコン入門からワード、エクセルのほか年賀状、デジカメ写真の撮り方と編集、ホームページ作成など実用レベルまで1年間で12講座。(選択受講可能)

- 日時：4月9日(水)～平成21年2月28日(土)
ほぼ毎月1講座8時間(1日4時間の2日間)
- 時間：13:00～17:00(初日以外土曜日)
- 会場：AIM6階北九州テレワークセンター
- 受講料：各講座3,800円テキスト代700円より
パソコンは持ち込み不要。
- ※複数の講座サポーターと電話サポートで安心受講
- お問合せ：NPO法人スキルアップサービス(荒木宛)
FAX651-8108
070-6462-0385へ

**北九州市要約筆記奉仕員養成講座
2008年度 受講生募集!**

- 期間：①手書きコースのみ希望の場合
5月9日～9月26日(毎週金曜日全16回)
②パソコンコース希望の場合
5月9日～9月26日(手書きと共通)
10月4日～11月29日(毎週土曜日全9回)
- ※4月25日(金)に事前説明会開催 必ず参加のこと
- 時間：おおむね13:00～16:00
- 会場：北九州市立東部障害者福祉会館
- 申込方法：申込書に必要事項を記入の上、下記まで
- 申込期間：4月1日(火)～4月14日(月)まで
- 受講料：無料(教材費2,800円)
- 主催・問合せ：北九州市立東部障害者福祉会館
視聴覚障害者情報センター
TEL:093-883-5552
FAX:093-883-5553

★2008年度西部朝日福祉助成金

地域で福祉活動に取り組んでいる作業所や団体の活動に必要な機材、設備を贈るほか、福祉事業や障害者の文化活動のための事業に助成します。

☆対象団体：

九州・沖縄、山口に所在する民間の小規模作業所や非営利団体、ボランティアグループなど。開設準備中のものも含まれます。

☆助成金額：1団体50万円以内

☆締め切り：4月10日(木)当日消印有効

☆要項・申込書の取り寄せ：

80円切手を貼った返信用封筒を同封し下記へ

〒803-8586(住所不要)
朝日新聞厚生文化事業団西部事務所
「西部朝日福祉助成金」係
TEL:093-563-1284
※下記からダウンロード可能です
<http://www.asahi-welfare.or.jp/>

☆朝日新聞厚生文化事業団

TEL093-563-1284
FAX093-563-1287



NPO法人の申請・認証状況

北九州市のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成20年2月29日現在

	受理数	認証数	不認証数
【北九州】	236	226	—



市民サミット賛同人募集！

北九州市民サミット2008（第3回）
～つながれ！100万人の1歩！！～
「私達が活動を続ける理由（わけ）」

「安心して住めるまちは自分たちで作りたい」。各分野のボランティア活動・地域活動・NPO活動等の市民活動を目にみえるものにするために始めました。

○賛同金：10500円

何口でも結構です。

※パンフレットにお名前を掲載します。

○振込可：西日本シティ銀行

普NO.1411511 直方支店

北九州市民サミット実行委員会

○問合せ・申込み：北九州市民サミット2008実行委員会事務局

岩丸（070-5532-5082）

全国のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成20年1月31日現在

	受理数	認証数	不認証数
都道府県	32,362	30,998	337
【福岡県】	1,153	1,107	1
内閣府	2,907	2,677	115
全国計	35,269	33,675	452

貸し出し図書のご紹介

☆CSRに効く 企業&NPO協働のコツ

風媒社◇編者 岸田真代

※「第4回 パートナーシップ大賞」の受賞事業及び、取材調査した協働事業の数々

☆金融NPO ー新しいお金の流れを作る

岩波書店◇藤井良広

※さまざまな知恵と工夫によって広がる内外の金融NPOを詳しく紹介

☆広報力が地域を変える！

日本地域社会研究所◇電通プロジェクト・プロデュース局ソーシャルプロジェクト室

※広報力やコミュニケーション力をテーマにしたワークショップでの議論や事例紹介をまとめたもの

北九州市市民活動サポートセンター

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11-4

北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”1F

TEL 093-562-5309 FAX 093-562-5310

URL <http://www2.kid.ne.jp/v-net/> E-mail: support3@axel.ocn.ne.jp

市民活動サポートセンターでは、NPO・ボランティア活動に関する相談や情報の提供を行っています。また、団体間のネットワークづくりの促進のため、定期的な交流会を開催しています。

◆サポートセンターの日…毎月テーマを変えて、交流会をしています。

◆専門相談員が相談に対応…月～土曜日 17:00～21:00
日曜・祝日 13:00～17:00

◆ミーティングコーナー…パーティーで仕切った無料の会議室。

※要予約

◆掲示板スペース…団体や活動に関するチラシ等を掲示しています。

—利用時間— 月曜日～土曜日《10:00～21:00》

日曜日・祝日 《10:00～17:00》

【休館日】3月6・27日（木）4月24日（木）

編集後記

桜咲くこの季節。なにかしら胸がキュンとなるような感じから遠く離れてしまったのは淋しい限り。

毎日があっという間に過ぎ去ってしまうのは、単純な日々を送っているからだそうです。子どもたちの毎日は変化に富んでいて、1日がとても長いらしい。そういわれてみると、忙しい毎日と変化に富んだ毎日とはイコールではない気がします。

桜舞い散る下に立って、なんとも知れない世界に引き込まれそうになる感じが好きでした。今年はこの時間をつくろう。

by yonmin105